

令和7年7月23日
この世界を歩くとき、

国の役に立つことが大事です。

～ 平和で豊かな社会が維持されるために ～

私はまだ小さな力しか持っていない一人の人間ですが、それでも国の役に立つことが大切だと感じています。大げさなことはできなくても、自分にできる範囲で、

5 社会や周りの人々のためになる行動を心がけることは、自分なりの貢献だと思っています。

たとえば、日々の生活でルールを守ることや、人に思いやりを持って接すること、仕事や勉強に真剣に取り組むことも、巡り巡って国の安定や発展につながっていくのではないかと思います。直接「国のため」と意識しているわけではありません

10 んが、誰かの役に立てたとき、ほんの少しでも社会に貢献できたような気持ちになり、うれしさを感じます。

私一人の行動がすぐに国を変えるような大きな力になるとは思っていません。それでも、同じような思いを持つ人が少しずつ増えていけば、社会全体がより良い方向に進むのではないかと信じています。そして、自分が育った国が平和で安心できる

15 場所であるためにも、自分にできることを少しずつ積み重ねていきたいです。

これからも謙虚な気持ちを忘れず、自分自身を磨きながら、国の一員として少しでも役に立てるような行動を続けていけたらと願っています。



きたむらとしふみ U. S. インターデノミネーション・クリスチャン
喜びと安らぎだけで生きることを決めて10年。その経験からしみ出る人との関わり方への筆致には定評があり、「ゆるし」という人間の内面にある深層を、独自の視点で探究し、静かに言葉にしています。